

世界遺産登録推進国際シンポジウム2016

「日本固有の防災遺産—立山砂防の防災システムを世界遺産に」実施結果について

1 趣 旨

今般、前ユネスコ事務局長の松浦晃一郎氏、日本イコモス国内委員会の西村委員長など世界遺産の最前線で活躍する専門家による論文を掲載した英語版冊子を作成し、これを基礎資料として立山砂防の世界文化遺産登録を目指した国際シンポジウムを開催しました。平成27年度開催のシンポジウムにおいて国内専門家によって議論された内容(立山砂防の世界的価値や今後の戦略)を踏まえて、世界的な戦略等について議論しました。

2 概 要 別紙プログラムのとおり (参加者約200名)

14:00～	■挨拶 石井 隆一 富山県知事
14:10 ～14:40	■講演1 「自然と共生した世界に誇れる防災遺産・立山砂防」 富山県知事 石井 隆一
14:40 ～15:10	■講演2 「立山砂防の防災システム—その顕著で普遍的な価値の包括的考察」 日本イコモス国内委員会委員長 西村 幸夫 氏
15:10 ～15:15	■ユースプログラム発表
	休憩 (10分間)
15:25 ～17:00	■パネルディスカッション 「日本固有の防災遺産—立山砂防の防災システムを世界遺産に」 コーディネーター 西村 幸夫氏 パネリスト アンドレアス・ゲッツ氏、五十畑 弘氏、クリスティーナ・キャメロン氏、松浦 晃一郎氏、石井 隆一知事

◇同時開催「世界遺産の中の土木」パネル展

		
講演1 (石井知事)	講演2 (西村氏)	ユースプログラム
		
パネルディスカッション	会場の様子	パネル展の様子